

《Lesson 2》動名詞と to 不定詞で意味の異なる動詞

動詞の中には、like / continue のように「動詞+動名詞」と「動詞+ to不定詞」の両方の形にできるものがあるが、動名詞をとるのか、to不定詞をとるのかによって意味が異なる動詞がある。代表的な例は remember / forget / try など。単語自体はそこまで難しくないが、意味の違いが細かいので注意。

(1) remember

- remember ~ ing = ~したことを覚えている / ~したことを思い出す

<例> I remember asking him this question.
(私は彼にこの質問をしたことを覚えています)

- remember to ~ = ~することを覚えておく / 忘れずに~する

<例> I have to remember to ask him this question.
(私は彼にこの質問をするのを覚えていないといけません)

(2) forget

- forget ~ ing = ~したことを忘れる

<例> I forgot sending this letter to her.
(私はこの手紙を彼女に送ったことを忘れていた)

- forget to ~ = ~することを忘れる

<例> I forgot to send this letter to you.
(私はこの手紙を彼女に送ることを忘れた)

(3) try

- try ~ ing = 試しに~してみる

<例> I tried moving my desk here.
(私は、試しに私の机をここに動かしてみた)

- try to ~ = ~しようと試みる

<例> I tried to move my desk here.
(私は、私の机をここに動かそうとした)

(4) stop

- stop ~ ing = ~することをやめる

<例> I stopped drinking coffee.
(私は、コーヒーを飲むことをやめた)

- *stop to ~ = ~するために立ち止まる

*“stop to ~”は“to 不定詞”の副詞的用法。

<例> I stopped to drink coffee.
(私は、コーヒーを飲むために立ち止まった)